

重要

～OBD車検で不適合にならないために～

ミエーテレは、OBD 車検でエラーが出ることはありません。しかしバッテリーを接続したままでミエーテレの取り付けを行うと、**希に「車検不適合」となる場合がございます。**
必ずバッテリーのマイナス端子を外して作業してください。

バッテリーを接続したまま取り付け作業を行われた場合

必ず車検までにお車を購入された販売店などで、バッテリーを接続したままキャンセラーの取り付けを行った事を伝えて、施工時に”ナビゲーション通信途絶”のエラーが記録されていないかの確認を依頼して、万が一記録されていた場合は消去してもらってください。消去作業以降に再びエラーが記録された場合は、キャンセラー取り付け部以外に何らかの不具合の可能性がありますので、お車を購入された販売店などで点検を依頼してください。

車検時に特定 DTC のエラーが見つかったと検査に合格しない可能性があります。

【バッテリーの外し方】

＊外すのは、マイナス端子だけですので、バッテリーを取り外す必要はありません。

- ・取扱説明書を参照してバッテリーの搭載位置を確認してください。
- ・パワースライドドア、パワーウインド、パワーリアゲートの搭載車は、すべて閉めてください。パワーリアゲートを開けておかないとバッテリーにアクセスできないお車は、リアゲートのみ全開してください。
- ・エンジン(ハイブリッドシステム)を停止させてから必ず3分以上放置します。
- ・マイナス端子(アース側 赤のカバーの無い方がマイナス端子)の10 mm のナットをボックスレンチやスパナなどでゆるめます。(ナットは完全に外す必要はありません)
- ・手で配線が動くようになったら上方向に抜いてください。電圧が低いため感電の恐れはありませんが念のため手袋の着用をおすすめ致します。外した線はミエーテレの取り付け作業中にバッテリーのターミナルに接触しない様にしておいてください。
- ・ミエーテレの取り付け作業を行ってください。

【バッテリーの再接続】

ミエーテレの取り付け作業が終わりましたら

- ・先ほど外したケーブルをバッテリーのターミナルに挿入して再び取り付けます。
 - ・ターミナルを軽く左右に回すように動かしながら、斜めに入っていないか確認してターミナルの根元まで深く差し込みます。
 - ・10 mm のナットをボックスレンチやスパナなどで軽く締め付けます。ターミナルが手で左右に動かなくなったところからもう少しだけ締めます。**注:くれぐれも締めすぎないように**
- *接触不良が起きないように、最後にもう一度ターミナルがグラグラしていないかを確認してください。

お願い

バッテリーターミナルの取り付けナットには規定の締め付けトルクがございます。お車を購入された販売店などに立ち寄られた際に、バッテリーの端子を外したことを伝えて規定のトルクで締め直してもらってください。

【バッテリー再接続後の初期化動作】

パワーリアゲート全開で作業された場合

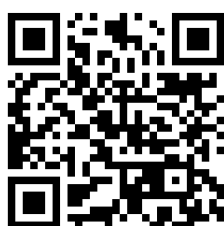
パワーリアゲートを全開で作業された場合は、バッテリー接続後リアゲートを手で全閉します。ドアロックします。つづいてドアロックを解除します。リアパワーゲートを通常に開閉動作させて正常に動作することを確認してください。

バッテリー再接続後、走行時に学習する項目があります。
しばらくテスト走行(いつも通り運転)してください。

お車により初期化項目が違う場合がございますので、詳しくはお車を購入された販売店等にお問い合わせください。

.....

* OBD 車検に関する詳細情報はノアノア90の Youtube で解説しておりますのでご覧ください。



https://youtu.be/GHXcH__FzWs